

資質・能力の三つの柱に沿った、  
小・中・高を通じて道徳教育において育成すべき資質・能力の整理(案)

人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者とともによりよく生きる

「道徳性」

人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指して行われる道徳的行為を可能にする人格的特性  
(道徳性の諸様相：道徳的な判断力、心情、意欲及び態度)

知識や技能  
(何を理解しているか、何ができるか)

思考力・判断力・表現力等  
(理解していること・できることをどう使うか)

学びに向かう力、人間性等  
(どのように社会・世界と関わり  
よりよい人生を送るか)

高等学校

- 道徳的諸価値の理解に基づく自分自身に固有の選択基準、判断基準を獲得する
- 道徳的諸価値の理解に基づく選択基準、判断基準には多様性があることを理解する

- 道徳的諸価値との関わりで事象を捉え、自分自身の固有の選択基準、判断基準に基づき、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考えることができる

- 道徳的諸価値の理解を基に、自己探求、自己実現に努め、物事を多面的・多角的に考え、人間としての在り方生き方についての考えを深め、人間としてよりよく生きようとする

中学校

- 道徳的諸価値について、広い視野から多面的・多角的に考え、自分との関わりで捉えることにより、その意義及び大切さなどの理解を深める

- 様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に、自分との関わりで広い視野から多面的・多角的に捉え、人間としての生き方について考えることができる

- 道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深め、人間としてよりよく生きようとする

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めるという道徳科固有の意義、特質

小学校

- 道徳的諸価値について、多面的・多角的に考え、自分との関わりで捉えることにより、その意義及び大切さなどの理解を深める

- 様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に、自分との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えることができる

- 道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深め、人間としてよりよく生きようとする

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めるという道徳科固有の意義、特質

道徳的価値を認識できる能力の程度や社会認識の広がり、生活技術の習熟度などに応じて深まる

道徳教育を通じて育成する資質・能力